

ボランティア・市民活動支援センターからのお知らせ



福祉をもっと身近に！ ～福祉体験学習～

恵那市社会福祉協議会では、高齢者疑似体験や点字体験、福祉に関するお話、障がい者の方のお話など、「体験する」「話を聞く」ことで、福祉を身近に感じる出前講座を行っています。学年や学習目的に合わせた内容を提案し、ボランティアサークルのみなさんや障がいをお持ちの方に講師としてご協力いただいています。

実際に体験することで、普段の生活の中で自分たちに出来ることや福祉について考える機会になると、市内小中学校の授業として数多く取り入れられています。



▲点字体験：視覚障がい者のお話や、点字の名刺作りを体験



▲高齢者疑似体験：機材を身に付けて高齢者の暮らしを体験

福祉体験学習では こんな体験ができます

高齢者疑似体験

障がいを持つ方からの
お話

車いす・白杖・手話・
点字等の体験



※各学習内容や時間配分などのご要望に応じて実施できます。詳しくはお問い合わせください。

地域や職場で 福祉体験してみませんか？

地域の集まりや会社の研修などでも実施できます。お気軽にお問い合わせください。

平成28年度 福祉体験学習実施校

- ・大井小学校
- ・大井第二小学校
- ・長島小学校
- ・三郷小学校
- ・恵那北小学校
- ・岩邑小学校
- ・山岡小学校
- ・上矢作小学校
- ・山岡中学校
- ・岩邑中学校
- ・長島学童保育所

全11校で
計15回

参加人数
698名
(延べ)

体験した児童・生徒の感想(一部)

疑似体験をして、曾祖母が体が痛い、重いと言っていたことがよくわかりました。これからは高齢者に手を貸したり、役に立つことをしたいです。(中1)

白杖体験をして、目の見えない人がどんなことを思っているか、どんなに大変かわかりました。点字ももっと勉強したいと思いました。(小4)